NO! ノー消費税 2012・3・1 No.263

No.248号付録
2012・3・1
東京版通算No.263号
編集：消費税をなくす東京の会

消費税をなくす東京の会
〒105-0004 港区芝1-4-9平和会館6階
TEL03(6273)2047 Fax03(6273)2048
Email:t_nakusu@hotmail.com
http://www.tokyo-kakukairen.jp/

消費税増税は絶対に許さない！

税金のムダづかいで自然破壊 住民犠牲に怒りの声

税金のムダつかいウオッチングツアー

毎年恒例になった消費税をなくす東京の会主催、「税金のムダづかいウオッチング バスツアー」は2月11日、34名の参加で行われました。まず1メートル1億円という東京外郭環状道路の大泉ジャンクション・八の釜湧水地の側で、松村友昭前都議会議員から、外環道トンネルとインターチェンジが建設されると、この湧水が消滅するという話に、「エーヒドイ」「公共事業の名で自然破壊か！」との声とともに、東京の会常任世話人で大泉学園の会の菊地実生さんから「地上から40メートルの深さにまでトンネルを掘るなんて想像もつかない、外環道を造って、こんなきれいな林や湧水を削るのはもったいない」などの話も出されました。

その後、千代田区丸の内再開発地区をみながら晴海防潮扉、浦安の液状化地域を見学。今回のツアーの最大の目玉である、国・江戸川区がスーパー堤防の建設を計画する同区の小岩地区で、建設に反対する住民と妙勝寺さんの大広間で懇談しました。

「スーパー堤防問題を考える協議会」に参加している住民から「国や区は治水に役立たないスーパー堤防を強行しながら、治水に必要な現実的対策をやろうとしない」「計画についてまともに説明せず、住民の批判を聞かずに追い出そうとしている」との説明がありました。

ツアーに参加した人からは「税金のムダつかいでゼネコンが大儲けする陰で住民が犠牲にされる姿がわかり、怒りを覚えた。こういうことを続けて消費税増税なんてとんでもない」との声が出されました。

黙っていたら自然破壊、住民犠牲の公共工事に立ち上がって反対運動をしている住民の姿に、私たちも消費税増税阻止、税金のムダつかいをやめよの声を地域の隅々からあげていきましょうと決意を固めあいました。

増税キャンペーンに対抗 大好評 消費税パンフで学習を！

野田内閣は、2月17日、消費税増税の引上げと社会保障の削減を盛り込んだ「社会保障・税一体改革」大綱を閣議決定しました。

大綱を受けて3月末までに消費税増税法案を国会に提出することにしています。

12～2月の世論調査では、増税反対が過半数を超えています。ところがマスコミは、世論調査の質問を変えてきました。「社会保障を維持するために、消費税率の引上げが必要だと思いますか」という設問ですそして、増税必要が63％の大見出し（読売）。

卑劣なマスコミの増税キャンペーンに、今、全国の会の「消費税パンフ」が大好評です、すでに五万冊が活用され、さらに、三万冊増刷しました。東京では4700部、この小冊子で、大・小規模の学習会が行われています。バンフの読み合わせ小集会も行われています。ぜひ貴方も読んでください。

消費税パンフ1冊100円

10冊以上、購入すると1冊70円で販売しています。問い合わせは東京の会に TEL03-6273-2047まで。

署名を持ち寄って国会に行こう

第三次国会議員要請行動

3月21日（水）午前11時～

場所―衆院第二議員会館多目的室

消費税をなくす板橋の会
消費税廃止板橋連絡会　合同総会開く

なくす会今井和幸事務局長の報告骨子

消費税をなくす板橋の会と消費税廃止板橋各界連は、1月25日、あーちぷらざで9団体44名参加で合同総会と学習会を行いました。

消費税をなくす板橋の会今井和幸事務局長が1年間の活動報告を行い、守る会田辺さんが定例宣伝と怒りの総行動への参加。産業、商業団体へ消費税増税反対一点での共同行動への行動提起を行いました。

つづいて、不公平税制をただす会富山泰一事務局長が「社会保障と大震災復興理由の消費税増税は国民の生活第一に反する」と題して詳細な資料を示して講演しました。わかりやすく力になったなどの感想が出され大増税阻止に全力を尽くす決意を固めて閉会しました。

以下は、消費税をなくす板橋の会事務局長・今井和幸さんの共同行動報告の骨子です。『昨年1月再開総会開いた、以後1年間の共同行動の報告をします。消費税廃止板橋連絡会構成の主要団体、土建、民商、新婦人、守る会、区労連、共産党となくす会の担当者により各月の初旬に定例で 世話人会を行い、消費税増税に関する国会情勢や増税なしの財源、民主的税制改革の方向など議論し、翌月の世話人会日程と定例宣伝の場所を決めてきました。

定例宣伝はこの1年間休まず12駅頭で行い、署名646筆、ビラ・テイシュ4230配布、行動に198人が参加しました。署名への反応は増税の動きが強まるとともに増え、11月44筆が12月倍の87筆寄せられました。12月の巣鴨駅頭の定例宣伝では、対話に人垣ができ1時間で76筆寄せられ、国民年金だけで暮らしている女性が、「これ以上増税されたら生活できない」と涙を浮かべて署名しています。

昨年4月1日の怒りの総行動は、都合で2日に中根橋に集合し中板橋商店街と石神井川沿いを署名と宣伝行動を行うとともに、東日本大震災救援募金を訴え、署名108筆ビラ・テイシュ550配布、募金14,385円と一円玉袋が寄せられ、行動に42名が参加しました。

各界連は5月11日、衆院第一議員会館で学習決起集会と議員要請など取り組みを進め、消費税をなくす全国の会は　阻止する行動として「消費税増税阻止のための集中行動期間」11月1日～12年4月1日の取り組みが提起され、11月1日にJR大塚駅でスタート行動を行いました。

毎日新聞が今年1月に発表した世論調査で消費税増税反対60％とでしたが、社会保障制度維持に消費税を上げなくては不可能68％と回答してあり、消費税増税なしに財源ありの宣伝が必要です。本日の学習を身につけ、定例宣伝を盛り上げていきましょう。

消費税なくす全国の会　シンポジウム開く

いまの時期に消費税増税とはなんだ！

消費税をなくす全国の会は、2月7日、「今の時期に増税とはなんだ！消費税増税と社会保障の一体改悪を考えるシンポジウム」を140人の参加で開きました。

パネリストの立正大学教授の金子勝氏は「日本国憲法と消費税」のテーマで報告し、主権者国民の租税は、国家に「託す」もので、国民は納税者」ではなく「託税者」だと主張。託税者は租税の種類、税率の決め方、使い方に関与できる権利をもつ」と述べました。

立正大学客員教授で税理士の浦野広明氏は「反対運動を広げるために」をテーマに報告し「増税攻勢を耐え忍ぶだけでなく打開するたたかいが必要」「政権交代ではなく政策交代を掴み取ろうと述べました。

全日本民医連事務局長の長瀬文雄氏は、「被災地の現状から、消費税増税は許されない、東北沿岸部は医療過疎、医師不足の地域、高齢化率も高く、災害弱者は誰なのかはっきりしている、その方々に大増税したらどうなるかと述べました。

農民連・税対部副部長の村田深（しん）氏は、「農業つぶしの消費税はなくすしかない」と訴えました。

その後、出席した人たちから発言がありました。

原発の放射能汚染から幼い子どもを守るため福島市から山形県に自主避難している若い男性から「避難生活で出費が重なり大変な時に消費税増税は認められない、声を大きくしていきましょう。と語りました。

CHIHIRO CALENDAR
いわさきちひろカレンダー
世界中のこども　みんなに
平和としあわせを
このいわさきちひろのねがいをこめて、いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、心から心へ、日本中にひろがっています。
いわさきちひろ作品普及会